

エネクラとは？



世界で最も売れたゲーム！
販売本数は**3億本**以上

主体性

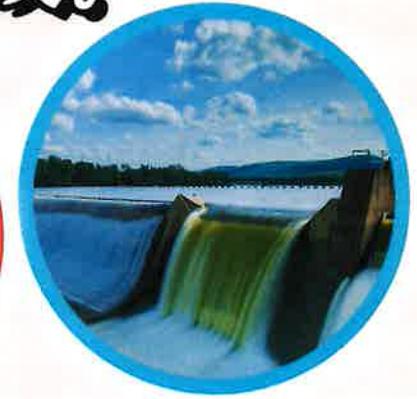
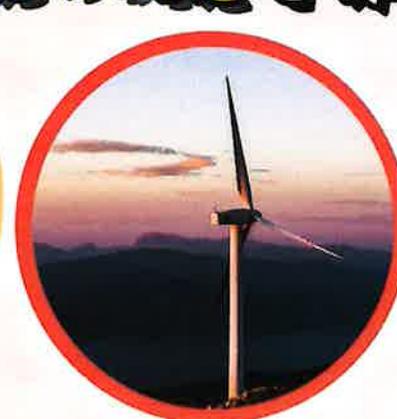
計画性

創造性

計算力

**整理
整頓**

通常のマインクラフトにはない
電気の概念を導入。



**資源を
むだなく
使う**

**環境に
やさしい
技術**

**持続可能な
社会を作る
ための知識**

エネクラとは？



ex) 太陽光の力で環境にやさしい家造り!

ex) さとうきびの自動収穫機を作ってバイオマス発電に挑戦!

ex) 原子力発電にイエローケーキ!? 化学の力で燃料精錬の秘密に迫れ!

ex) 作った電気で水素を使おう!





関西大学 社会安全学部 社会安全研究科 林能成教授

エネクラが開発されているのは原子力発電所がある福井県敦賀市です。「エネルギー」を身近に感じる人たちがつくっているのです。細かいところまで作り込まれているのが特徴です。ゲームとしての完成度を高めるべくバージョンアップを重ね、子ども大人も楽しめるものになっています。楽しいだけではなく、エネクラには理科の基本的な原理が取り込まれているので、学校の勉強もよくわかるようになると思います。



福井工業大学 工学部 原子力技術応用工学科 川上祥代

エネクラは低年齢から取り組みやすく、エネルギーに関する積極的な情報収集を促進し、理解を深められる内容であることが魅力的です。楽しみながら主体的に学べることも、教育ツールとして優れています。複雑や難しいというネガティブなイメージを変えることは、エネルギー教育にとって大きな前進になると考えます。今後、多くの場でエネクラが活用されることを期待しています。



自治体DX人材育成 総務省DXアドバイザー 後藤美佳

マイシクラフトをエネルギー教育に活用することで、創造力や問題解決能力、チームワークが向上し、実践的な学習体験が可能となります。また、多様な発電のシステムを学びながら、持続可能なエネルギーの理解と環境意識が高まります。デジタルスキルも習得でき、子供達は個別に学習を進められます。シミュレーションを通じて、楽しく技術的概念やシステム思考を学び、安全に実践できるメリットもあります。

1. エネクラ(単発イベ)



～持続可能な都市を探検しよう～

子どもたちが再エネクイズに挑戦!
持続可能な都市を探検しながら宝箱
を探し、宝箱に入っているヒントを
もとにクイズに答えてもらう。
クイズに答えた子どもから探検の続きや
建築をすることができ。

単発イベント向き

参加者アカウント不要

45分/回

2. エネクラ(継続イベ)



～電気を作って使おう～

再エネ(地熱・風力・太陽光・水力
バイオマス)や原子力、核融合発電
をマイクラ内で再現し、作った電気を
活用していく。例えば電解分離機を稼働
水から水素を取り出し、ジェットパック
に補充、燃焼させて空を飛ぶなど。

継続的なイベント向き

参加者アカウント持参(3980円)

1時間/回

3. 電子回路マイクラ



～射的で花火を打ち上げよう～

マイクラで論理回路を構築する。
初めに基本となるAND回路、OR回路
NOT回路を練習、その後応用。
応用では、射的場の的に
弓矢が当たった時に花火が打ち上がる
回路などを組む。

単発イベ&継続イベ どちらも可

参加者アカウント不要

1時間/回

Energy Minecraft

夢の核融合レーザーに挑む

参加・見学無料!
2025.03.07
09:30-12:00
SHIBUYA QWS

MISSION 1
核融合炉をブロックで構築・燃料を入れよ!

MISSION 2
燃料ペレットにレーザーを当て、プラズマを作れ!

MISSION 3
蒸気タービンを回し発電せよ!

Special Guest



東京科学大学の総合研究院で准教授をしています。20年以上にわたり原子炉や核融合炉に関する研究を実施しています。核融合炉の仕組みについてマインクラフトなどのゲームを舞台に解説して、YouTube動画として公開しています。核融合が登場する未来の社会はどのようなものになるのか一緒に考えましょう。



近藤正聡研究室に所属し核融合炉などの次世代エネルギープラントの構造材料に関する研究をしています。中学1年生の頃にボーカロイド曲をきっかけに核融合を知り核融合炉のWikipediaを初めて見たときに「先端技術ばかりですごい!核融合炉創りたい!」とワクワクしたことが研究の原点です。今回のイベントで皆さんにとって新しい発見・きっかけがあれば嬉しいです。

**イベント詳細
申込はこちら**



マイクラ参加者
(8名限定)
見学希望者
(50名限定)
※マイクラ参加者のみ
JAVA版マイクラ
アカウントが
必要となります

主催: 2024嶺南誘客キャンペーン実行委員会

青々吉日